

才少女ハルちゃんになる様な氣がする。

諸先生の御苦心にはたゞく限りない尊敬感謝。先生方何卒御健全で更に種々の御教を賜ります様。吳々も御身御大切に。何卒この私の爲に。

あんまり本音を吐き過ぎたかしら。

先生大丈夫よ……三子供等が口を揃えて云つて呉れる様だから安心してペンを擋かう……として氣がついた。講習の附録を忘れてゐた。

質疑應答は先生ならではの専賣特許。

併しそはまだ速記を讀めば出席しない人にも解る。出席

しなくては到底ダメなのは先生の御話の内容よりもその持味といふか甘味といふか理論的には同じ様な事の云へる人も或は無くはないかも知れないが追隨を許されないのが何といはうか、ユーモア、ウヰットそしてやはらかみ、朗らかさ親しみ、やさしさこんなものがもや／＼して威嚴の洋服を着た様なごいつでも當らないしさあ何といはうか、いへない所がつまり出席しない人には解らない所以、私の故ではない。附録の方が或は大きな得物ではないか。失言の數々も本音なり止むを得ないご御許し下さい。

九、七、二七。

夏期講習會を終へて

千葉女子師範學校
附屬幼稚園 渡 部 さ よ

申し上げるまでもございません。

夏の講習、毎年期待される文部省の講習會も今年は氣候不順の爲にかへつて涼しく夏らしい感じから遠のいた氣持で講習員一同がざんざんで終はる事が出來ました事か

講師諸先生方にはいつもながらの御熱心御親切なる御指導をいたゞき一年振りにいたゞく栄養剤がひし／＼ご身體

中にしみ込む様な氣持ちで一週間、またよく間に過してしまひました。

「」ながら嬉しく感じられましたお遊戯は歌詞に、曲に、振りに、何ご御氣つかひ下さいました事か、「幼な子」ごいふ感じから一步もゆずらぬあの感じ……戸倉先生の御苦心は勿論諸先生方の御心やりの程もうかゞはれて一人喜んでかへりました、度重ねて口ずさむ味はひの心よさ……一人でリズムにつられて踊りたくなる様な感じがいたします。あの單純な振りがぎんに表現されるものが今から楽しみで御座います、早くこの喜びをつたへてやらうご充された喜びにあふれて居ります。

たゞ遺憾に思ひました事は昨年に比べて質問の少い事で御座いました全国からお集りになる熱心な方々の御心意氣はぎんに賑やかな、興味あるものかごあまりに期待を大きく持つてまわりましたゝめか一寸物足りない感じで過しました事が何ご云つても殘念な事でございました、しかしそれだけに一日間の質問がゆつくり伺へた事は出題者のお互ひが喜びごするごいろでございました。關西の方からお

出でになりました大塚先生の御質問はほんとに私共保母にござりまして大變有益な事にうかゞはれました。ごかく仕事の多忙に追はれ勝ちな私共、ここに結果を公にする折の少い私共には仕事をすゝませる事についてはいろいろ考へさせられますのに、ぶりかへつて一日一日を反省しここ更に書きこめておく様な事が少いと思ひますここに個人個人の表はれについては特別の子供以外にはかへり見る暇もなく過ぎはしないでせうか、倉橋先生の御想像通り日誌をつけた時のだんく縮まつてありますのはあまりに形式にさらわれるからではないでせうか、勿論「公開日誌は別として自分のおぼへがき」は出来るだけ簡単に鉛筆のはしりがきで書きのこして行つて一週間ごか一ヶ月ごかに又くりかへして整理して見る事がぎんにでも仕事を助けて行かれる事ご思ひます。たゞ「書きごめる」ごいふ事が「一日く」を、又個人々々をよくみつめる」ごいふ氣持ちをより多くしました事が何ご考へまして私も三年前から三冊のノートを使ひました「ほんとに自分のおぼへ書き」で公開すべ用意してみました「ほんとに自分のおぼへ書き」で公開すべき性質の物では御座いませんが、私のためには大變都合よ

いものになりました。この終りに淡路圓治郎先生の「幼児性行評定尺度」を造ります。大變らくの様思はれました。ある時には出席簿と同じ用紙にその日の作業、遊び等を簡単に入れて見た事もございましたが、初めから形式をこゝのへた立派なものによらうとするこつとかなくなる恐れがありますので、ありのまゝを出来るだけ

夏期講習會雑記

七月二十二日から二十七日まで六日間の、あの充實した毎日は今思ひ出しても愉快です。午前中は文部省主催、午後は日本幼稚園協會主催。四百に近い會員が講堂に、また附屬小學校の雨天體操場にぎつしりと、全く一體になつてお講義を御指導をうけました。涼しかつたお天氣は本當に何よりも幸せでした。

時間表は

	文 部	省 主 催	日本幼稚園協會主催
二十二日(日)	開 会 式	倉橋講師 及川講師	及川講師 戸 倉 講 師
二十三日(月)	倉橋講師	倉橋講師 及川講師	及川講師 戸 倉 講 師
二十四日(火)	新庄講師	新庄講師 及川講師	及川講師 戸 倉 講 師
二十五日(水)	新庄講師	新庄講師 及川講師	及川講師 戸 倉 講 師
二十六日(木)	倉橋講師	倉橋講師 及川講師	及川講師 戶 倉 講 師
二十七日(金)	倉橋講師	倉橋講師 開 会 式	倉橋講師(質疑應答)

講師諸先生方のあの御熱心なお導きをこゝに皆様と御一緒にあらためて厚く感謝致し度いと思ひます。
尙質疑應答の速記は都合上次號にまわしました故御承知下さいませ。

簡単に記しておかれる様な物をつくり、後になつて「整理」する機會をつくるのが何より有益の様に思はれます。

充された心の喜びからくだらぬ事をながくこかきつらね紙面を頂きました事をおわび申し上げて筆を止めます。

九、七、三〇。